

夏の陽射しを浴びて早苗がすくすくと大きく育っています。山のあちこちでは風に揺れる朴の葉が銀白色に光って見えます。ふるさと東白川の夏がやってきました。

6 月 18 日に起きた大阪北部地震の被害に遭われた皆様に心からのお見舞いを申し上げます。尊い人命が失われたことやライフラインの被災により多くの皆様が通常の生活に戻られるまで不自由な生活を強いられておられる報道を見るたび、本村の災害に対する備えを強化する必要と、村民の皆様の防災意識の高揚に務めなければならないと感じています。

ライフラインといえば、今、村では 2 つの大きな事業に着手しております。

1 つは、村民の皆様の健康で豊かな生活を護る拠点として、診療所と老人福祉施設の建設事業です。施設については、全てのニーズや要望には応えられないものの、検討に検討を重ねていただいた設計ですので、現時点でのベストプランであると確信しております。今後は「仏作って魂入らず」にならないように、医療・福祉・介護の地域の拠点となり、東白川村の新しい宝となるような診療所を創っていく所存です。

もう 1 つの事業は、全村光ファイバー化事業です。情報過疎地にならないように、経済・文化など全ての分野の活動の基本となる環境整備だという認識で、この事業に着手しております。4 億円ほどかかる事業になりますが、現在は国の補助金を 2 分の 1 獲得するための活動や、事務処理を精力的に行なっています。この事業も CATV の今後の運営をどのようにすることが最善なのかが大きな課題であり、情報基盤施設管理運営協議会でしっかりと議論をしていただく所存です。

先月、議会議員の皆様と地元選出の国会議員の先生方に、前述の 2 つの大事業のほか村内の道路整備の促進など、村の現状と課題などを要望してまいりました。

翌日は、今年度、村が計画しています特選の白川茶の水出し煎茶の試作をお願いしている「[ロイヤルブルーティージャパン株式会社](#)」の六本木のアンテナショップを訪問し、同社の佐藤会長から「[ロイヤルブルーティージャパン株式会社](#)」の商品開発と販売戦略について講話を頂き、議員のみなさんに全国の有名な茶生産地の茶葉で作ったワインボトル入りのお茶の試飲をしていただきました。[ロイヤルブルーティージャパン株式会社](#)の商品は、ワインボトル 1 本で最高 60 万円から数万円の商品が有名料亭やホテルに販売されています。今後、茶業振興会に今年の品評会用に「一芯一葉」で摘んで頂いた茶葉で試作品の製造をお願いする計画であります。この取組みは、高級白川茶販売のシンボルとして商品を開発し、東白川村独自の販売戦略を立て、これに見合った産地再編成の計画を立てるための戦略構築事業の一環で実施するものです。

試作品が完成しましたら、皆様にも是非一度お試し頂きたいと思っています。

様々な分野で生き残りを賭けた挑戦が続いています。

平成 30 年 7 月

東白川村長 今井俊郎